

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あさひ2号館		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 28日		令和8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 1日		令和8年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに合わせた活動に取り組んでいる。	子どもの出来ること(自立度合い)に合わせた活動をおこなっていく。	ツールなども活用していき、苦手な部分のカバーが出来る取り組みを増やしていく。
2	生活の中で必要とされることを細かく取り組んでいく。	発言がなくても相手に伝わるように、一つでも自立し、生活がより良くなることを増やしていく。	どのような相手にでも伝わるよう、たくさんの経験を積んでいく。
3	生活リズムや長期休暇中の過ごし方に寄り添っていく。	就寝、起床時間の共有やお昼の過ごし方、食事の時間など、ルーティンが崩れないよう工夫をしている。	日頃、学校等での流れを共有していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいことへのチャレンジが少ない。 ・曜日の偏りがある。 	出来ないことでも経験として、チャレンジ出来る機会を設けていきたい。
2	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援	ツールが少なく、こちらが用意した答え、選択しかない。	ツールを増やして、細かい選択ができるようにしていきたい。
3	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き渡し事にゆっくり話ができていない。 ・保護者にも共有が出来ていない時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕をもって学校ともしっかり話をしていく。 ・保護者にも何かあったらすぐに共有していただけるようお願いする。